

熊本地震災害派遣薬剤師・九州ブロック現地活動報告 No.19

平成 28 年 5 月 26 日

- 【派遣日程】 5月4日（水）～5月5日（木）
- 【報告者】 鹿児島県 岡積 大豪
- 【メンバー】 川畑 紀健, 徳田 佐和子, 岡積 大豪
- 【派遣先】 嘉島町役場
- 【交通状況】 朝8時出発、当日の朝に地震があり高速道路が一部通行不可になり12時10分ころ熊本県薬に到着。熊本県薬で説明後嘉島町役場へ出発し、午後1時ごろ到着。嘉島町役場までの道路は地震で壊れたところは舗装しなおされていたが、ガタガタしていたため非常に車が揺れた。被災の中心に近い高速道路は波打っていた。
- 【ライフライン】 特に問題なし。
- 【活動内容】 広島県薬剤師会のモバイルファーマシーを使用し調剤。広島県薬剤師会3名、北海道薬剤師会3名、熊本県薬剤師会1名と連携し、計10名で活動。
- 5/4：13時に現地到着し、鹿児島県薬剤師会の前任者から引き継ぎ。各薬剤師会から、嘉島町の現状やそれに伴う活動内容、モバイルファーマシーに関して説明を受ける。モバイルファーマシーに慣れるために調剤、投薬を数件行った後、1名はモバイルファーマシーで広島県薬剤師会、熊本県薬剤師会と共に調剤業務を行う。残り2名は嘉島町民体育館で衛生管理について北海道薬剤師会より説明を受けたあと、看護師および薬剤師による嘉島町民体育館内の避難者の見回りに同行。インスリン使用患者とお話し、インスリンの保管方法、使用状況等の確認や酒精綿の残数状況の確認と手配を行った。調剤件数は5/4の1日総数が25枚程度。17時に自衛隊の救護所が閉まると同時に調剤業務終了。鹿児島県薬剤師会は17時で活動終了し熊本県薬へ戻る。
- 5/5：8時20分に集合し、9時からの自衛隊の救護所開始に備える。1名は体育館に常駐し、お薬相談に対応。2名は広島県薬剤師会および熊本県薬剤師会とともにモバイルファーマシーで調剤、投薬業務を行う。13時までで調剤件数15件程度。13時にて活動終了し、嘉島町への応援は当グループで終了のため引き継ぎはなく、熊本県薬へ戻る。熊本県薬で報告書を提出し、鹿児島へ戻る。

-
- 【派遣日程】 5月14日（金）～5月16日（日）
- 【報告者】 福岡県 松永 ゆかり
- 【メンバー】 小田 真稔, 宮崎 寿, 永山 雅健, 角 咲貴子, 杉本 奈緒美, 玉城 和子, 喜納 みゆき, 萩野 則子, 松永 ゆかり
- 【派遣先】 益城総合体育館
- 【交通状況】 博多駅ー熊本（九州新幹線）、熊本ー南熊本（豊肥線）は通常より本数は減っているが、遅れなどなし。南熊本より熊本県薬まで徒歩3分程度。熊本県薬より益城総合体育館まで健軍過ぎより渋滞あり（1時間程度）、益城に近づくとつれ、道路の凸凹ひどくなる。総合体育館に曲がる交差点は信号が壊れ、警察の誘導（夜はなし）。益城総合体育館から菊池グランドホテルまでは渋滞がなければ30～40分程度。平日は通勤の渋滞があり1時間程度かかる。
- 【ライフライン】 電気○、水×
- 【活動内容】 ①日赤救護所での調剤業務
②OTC相談業務
③巡回
④環境測定 3回（目安 9:00～9:30、15:00、19:30）
温度、湿度、二酸化炭素、粉塵、照度、騒音
⑤館内アナウンス 3回（目安 9:00、12:00、19:00）
熱中症、食中毒、エコノミー症候群など
○14日 （晴れ、気温高く、テント内はかなり過酷）
11:00 熊本県薬剤師会集合だが、予定より早く集合のため順次、益城総合体育館へ移動。
11:50 益城総合体育館到着。部署ごとに個別に業務引継ぎ
12:40 全体ミーティング
13:00 引継ぎを継続しながら、業務開始
①調剤 1日の処方せん枚数46枚（引継ぎ後32枚）
風邪や下痢、けがなど、インフルエンザ疑い2名（陰性）
②OTC交付は6件
かゆみ止め、風邪薬、湿布、熱さまシート、OS-1など
③巡回 保健師に声をかけ一緒に回る
④環境測定
⑤館内アナウンス
⑥その他

15日救護所移動のため、日赤より借りているカートの中の薬をコンテナへ移動。過剰在庫や輸液を整理し、不要な分を熊本県薬へ。本日から夜間の宿直をなくし、車の中へ医薬品保管となるため、移動しやすいよう整理。

18:45 薬剤師ミーティング 情報を共有

20:45 業務終了

○15日（晴れ、気温高い。移動後のテントは空調があるが、暑い。
夜雨となり冷えてくる）

9:00 薬剤師ミーティング。前日までは午後から救護所移動の予定であったが、10:30から移動後のテントで診療を開始することとなり、間に合うようミーティング終了後よりすぐに移動開始。

10:30より診療開始。

益城総合体育館正面玄関右側へ移動。調剤部門とOTC相談部門を同じテント内に並列して設置。

①調剤 1日の処方せん枚数32枚

風邪、軟膏、湿布などの処方が中心

移動したためか少なめ

②OTC交付は13件

風邪薬、湿布、熱さまシート、OS-1など

③巡回 保健師に声をかけ一緒に回る

④環境測定

⑤館内アナウンス

⑥その他

不動在庫の整理（在庫は少なくしていく）

小児用散剤の約束処方一覧を作成し、日赤チームへ交付

20:00 救護所の移動、夜は雨も降り始めたためか、延長診療はなく、業務終了

○16日（雨、気温低下）

9:15 薬剤師ミーティング。ミーティング後、業務開始。雨のため、診療テントと調剤テントの間に、濡れずに移動できるようシートを設置。

①調剤 次班に引き継ぐまでの処方せん枚数4枚

（雨のため少ない）風邪などの処方

②OTC交付は3件

湿布、熱さまシートなど

③巡回 保健師に声をかけ一緒に回る

- ④環境測定
- ⑤館内アナウンス
- ⑥その他

医療用医薬品の整理。毎日業務終了後に車に移動させるため、コンテナ、棚、医薬品リストに同じ番号をつけ、わかりやすいようにする。コンテナには、医薬品リストを表示。

12:00ころより、順次、業務の引継ぎ。

14:00 薬剤師ミーティング後、帰路に着く。

*晴天の日と雨の日では寒暖の差があり、服装は調節できるようにしておく必要がある。

*飲料水・食品は、現地調達可能。

*救護所は、24日まで。縮小傾向にある。

【派遣日程】 5月18日(水)～5月20日(金)

【報告者】 福岡県 井手 純司

【メンバー】 中根 慎治, 合田 博行, 井手 純司

【活動内容】 ○18日

- ・前班よりの引継ぎ
調剤, OTC, 健康相談
環境測定(CO₂, 粉じん, 照度, 温度, 湿度, 騒音
館内放送
- ・近隣医療機関・薬局の案内、避難者への情報伝達
- ・医薬品。衛生用品等の管理・整理
- ・環境測定…異常なし

※19日以降の業務変更ポイント

- 1) 館内放送…定期的な放送を一旦休止
- 2) 環境衛生測定…3回→2回/日へ変更

※18日PM 調剤:20件, OTC:8件

○19日

- ・調剤用医薬品在庫管理
- ・環境測定
- ・調剤業務、OTC業務

- ・熱中症への注意喚起
- ・近隣医療機関の復旧について避難者へ周知
- ・施設内の備品整理

※20日よりの変更ポイント

- ・診療時間 10:30～20:00 → 10:30～17:00
- ・施設の会議は本日までで終了

※調剤：AM・6件、PM・15件

OTC：AM・1件、PM・2件

○20日

- ・調剤業務，OTC業務，環境測定→次班への引継準備
- ・近隣医療機関・薬局の復旧状況の周知

※調剤：AM・1件、PM・1件

【派遣日程】 5月20日（金）～5月22日（日）

【報告者】 福岡県 中山 久美子

【メンバー】 川口 由美子，山下 準，中山 久美子

【派遣先】 益城町

【活動内容】 初日と二日目は、患者数も少なかったため、テント内の整理や、医薬品と物資の分別、オリコン内の整理、品目の管理等。

三日目は、日曜日のため、患者数増加し、対応と引継ぎ。

[5/21（土）17時：日赤・JMAT・薬剤師会会議決定事項]

24日：日赤撤退が確定→総合体育館にある請負派遣薬剤師活動用テントも同時撤退。

24～29日までJMATが対応：発行される処方箋は、地域薬剤師会の臨番制で対応。（現地では周辺地域巡回シャトルバスが運行されているが、適応出来ない患者へ薬のお渡しを行うために、テント撤去跡地に移動式トレーラーハウスを設営する等の取組を開始。）

【派遣日程】 5月22日（日）～5月24日（火）

【報告者】 福岡県 吉永 裕助

【メンバー】 田中 孝洋，井ノ上 徹，吉永 裕助

【派遣先】 益城町体育館（日赤救護所テント）

【ライフライン】 電気○ 水道× ガス×？

現地でのライフラインの状況は派遣先では把握できない。

日赤救護所テントでは自家発電により電気は使用可能

【活動内容】 ○22日

8:26 JR 行橋駅発

10:24 南熊本到着 電車遅延なし

熊本県薬剤師会館にてチーム顔合わせ、現地までの移動方法、概要について説明

チームメンバーと合流

11:00 熊本県薬剤師会館出発

12:00 益城町体育館到着（途中渋滞あり）

～13:00 業務引き継ぎ

ムカデ咬傷後蕁麻疹アナフィラキシー疑いの患者対応

医師よりボスミン注、ステロイド注の在庫確認があるが在庫なし。

益城町保険福祉センターへ移動しアナフィラキシー対応として薬剤調達（エピペン 0.3mg）

16:00 熊本県薬剤師会より伝達。

23日よりすべての近隣病院が診療再開予定。

避難所の医療ミーティング、益城町医療全体会議、施設本部会議（YMCA 本部内）は終了。

環境測定は22日で終了。

17:20 日赤診察終了 後片付け

17:30 撤収 処方せん 21 枚、OTC 対応 5 名

18:30 菊池グランドホテル到着

○23日

7:30 菊池グランドホテル出発

8:50 益城総合体育館到着、業務開始

9:00 YMCA（ボランティア団体）より環境測定時に熱中症注意喚起を行うよう依頼があった。行政と相談し環境測定終了しているため、依頼は断ることとした。

10:00 近隣クリニック診療再開に伴い、処方日数を2～3日としていただくように日赤医療チームに依頼し了承された。

12:00 アストミン錠、芍薬甘草湯不足、益城町保福祉センターへ薬剤調達。

16:00 益城町保福祉センターへ OS-1 補水液、OS-1 ゼリー配達。

17:40 日赤診察終了 処方せん 27 枚

17:50 撤収

近隣クリニックの診察は再開となったが、利便性などの理由で日赤診療所を繰り返し利用される被災者がおられた。

咳、咽頭不快感で受診される被災者が多かった。

○24 日

7:30 菊池グランドホテル出発

8:50 益城総合体育館到着、業務開始

熊本県薬剤会より、避難所内の医薬品の仕分けについて説明があった。

支援物資の中には様々な医薬品があり、看護師や保健師が個々に対応している状態である。

熊本県薬剤師会で避難所を巡回し医薬品の整理を行っている。

11:00～ テント村、ミナテラス巡回

モーラステープ、ロキソプロフェンテープなどの処方箋医薬品が支援物資の中に紛れていた。

エンシュアも栄養補給用として配布されていた。

医薬品を仕分けし避難所の担当者に説明実施した。

12:00 次班到着、引き継ぎ

13:00 本日で日赤診療終了のため、不要な備品の片づけ

14:00 業務終了

15:00 熊本県薬剤師会館到着

17:00 行橋駅到着